

平成 28 年 2 月 1 日

奈良県知事 荒井 正吾 様

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議会長

奈良市長 仲川 げん

リニア奈良県駅設置に関する要望書

リニア中央新幹線は、新しい国土軸を形成する高速輸送鉄道として国内交通網を大きく変えるといわれ、その経過地及び駅位置の決定は、奈良県の将来にとっても大きな影響を及ぼすものと考えます。

全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画及び整備計画における主要な経過地「奈良市附近」という記載、平成元年の奈良県議会における「奈良市に停車駅を設置する」という議決といった歴史的経緯に加え、以下の事実からも、奈良市がリニア新駅設置に最適な地であるといえます。

- (1) 県都として県内唯一の中核市で、県内の政治・経済・文化の中心地であり、各種研究会・学術会議・その他イベント開催等についても、利用者にとって最も利便性が高いのが奈良市です。
- (2) 奈良市は複数の世界遺産をはじめとする県下随一の観光資源と知名度を有し、年間 1400 万人以上の観光客が訪れます。奈良県最大の観光地であることはもちろん、日本が世界に誇る国際文化観光都市です。
- (3) 県下最大の鉄道乗降者数を誇り、また、鉄道のみならず自動車道においても周辺他都市とのアクセス性にも優れている、奈良県随一の交通結節点であり、最も交通利便性が高いのが奈良市です。

以上のことから、利用者にとって最も利便性が高く、世界中から最も多くの人を訪れる奈良市にリニア新駅を設置することで、奈良県内に最大の集客効果が見込まれ、最も交通利便性の高い奈良市から、県全体へ観光客を送り込むことが出来ます。奈良市へのリニア新駅設置実現が、県全体の発展に過去に例が無い規模で、大きく寄与することは間違いありません。

貴職におかれては、奈良県民長年の悲願であるリニア中央新幹線新駅の奈良市内への設置実現に向け、引き続きご尽力いただきますよう、強く要望いたします。

以上